

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年10月28日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年10月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【「傾向管理」機能使用時の振動診断計設定の確認不足について】 当社が設備診断で使用している振動診断計(以下振動計)について、長期的に振動値の変化をトレンド監視する「傾向管理」機能において、従来の設定と異なる状況であることが確認された。 メーカー校正試験後に当社へ返却された際に傾向管理データ用の設定値の周波数が変更されており、当社がそのまま使用したもの。 現在は設定値の周波数を従来の値に設定済み。 トレンド詳細そのものは可能であり、かつ「精密診断」機能にて振動値そのものも採取可能であったことから、振動診断結果への影響はない。 今後、再発防止対策を実施予定。	GⅢ	10月25日
2	【5・6号機K2タンクの仕切弁の閉固着について】 当直員が、5・6号機の滞留水を処理するためにK2タンクの仕切弁を開操作したところ、当該弁が閉固着しており開側に操作が出来ないことを確認。 当該弁は通常「全閉」であり、現在「閉固着」のため、系統の漏えいリスクに影響なし。 滞留水処理については、他のタンクで可能なため問題なし。 今後、当該弁を点検・修理予定。	GⅢ	10月26日